

来て 出会えて 聞いて 言えて

よかった!!

声

貴重な35人の



今回のテーマ…

子育て支援

公共施設のあり方

観光産業

オープンミーティングとは？

議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指しています。
 目的は、みなさまの声を町政に反映させること！議会改革実行委員会では、町民が自由に町の課題について意見交換が出来る場所づくりを目指し、「徹底的に！」「皆さんのお声を聴く！」ことから始めています



今後の観光産業のあり方

観光産業

貴重な声
18人



大きなテーマでしたが、富士見町を愛する気持ちが観光産業の在り方に対しての熱い想いとなって伝わってきました。豊かな自然との共存、流れてきた歴史や文化の造詣の深さ、守るべきものと活かすべきもの、PRの過不足、滞在する方法の多様化など、取り組むべき課題や行政運営への提案事項など、多くの貴重なご意見をいただきました。

行政の民間型（サービスマインド業務執行）が大事。

スズランなどの地域素材を最大限に活用して、地域の物産の掘り起こしとPRを同時にしたらどうだろう。

駅前に「ホテル」、最優先でしょう。

ランニングの町構想はどうだ。サイクリング拠点整備も有効ではないか。

ゆめ広場を観光拠点として活用し、観光スポットの点在を繋ぐ仕組みを考えよう。

エコラインと町の中心の間に「のんびりくつろげる観光ポイント」を整備したい。

体験型観光を増やすほうがいい、時代はモノよりコト。

地図に載っていない魅力ある道で地域資源の掘り起こしはできないかな。



これからのまちづくり

公共施設のあり方

駅周辺の公共施設は、様々な利便性が考慮された建物でなければならない、地域コミュニティと上手に共生していかなければならない、人口減少という難題とも共闘しなければならない…参加者の皆さんからはその背景を十分理解された上での活発な意見が出されました。



貴重な声
9人

小学校再編について

1校でも仕方ないとは思いつつも、本当は今の地域に小学校を残したい。

町民センターについて

トレーニングセンターは健康増進の拠点として、もっと充実させて欲しいなあ。

空き家について

戸建ての古民家は移住する際すごく魅力的である。積極的に借りられるようにするべき。



教員住宅、町営住宅について

子育て世代が移住を検討する中で町営住宅の利用を考えても、入居条件が厳しく入居できない。空けておくくらいだったら入居できるように検討できないか。

JR施設について

信濃境の駅前は閑散として将来が不安。富士見駅のエレベーターはいつできるのだろうか？

公共施設全般について

公共施設は災害時にも使用し、絶対安全な建物に。



イベント施設について

食事を含めたイベントを開催しようと思っても施設がない。お金が掛かっても、良い施設を作るべきでは。

森のオフィスについて

リモートオフィスとして成果は何なのか、リターンは何なのか町民にわかりにくい。

貴重な声
8人

子育て支援全般

多く聞こえてきた声が、「子どもの居場所づくり」「児童クラブ、延長保育での学校、保育園の指導のあり方」「子ども達が将来、多角的な見方ができる機会を」でした。すぐに取り組むべき課題から、長期的な課題まで、貴重なご意見をいただきました。



多様な育ちの場が必要。富士見町の企業にも協力してもらってはどうか。多くの大人と関わることで、色々な仕事があることを知ることは、意義が大きい。

児童クラブの問題点は多く、また深い。

プログラミング教育が始まっているが、教育現場の対応が遅れている。

学校と家以外の子どもの居場所がない。

子どもは家庭と地域で育てるもの。

子ども議会の開催を！

町で提供している「子育て応援BOOK このゆびと一まれ」は子育て世帯にとって貴重な資料。



そして、議会はこう動く。

- 3つのテーマ分科会での活動を切らずに多方面でつないでいく
- 議会だよりで報告、継続して議員レポート発信
- 問題点、課題については、分科会で責任を持ち賛同議員として解決に向けて役場担当部局に提案する
- 分科会で話をし、一般質問に取り上げられるものは取り上げる